

内頸動脈狭窄症の外科的治療成績

CEA ; Carotid endarterectomy

術後30日以内の周術期合併症は以下のとおりです

■対象期間：2002.6～2022.12

■対象症例：1212例（男性1047例/女性165例）
平均年齢73.6歳

□永続的合併症 9例(0.7%)

施行年	症状	年代
2004	嚔下障害	60代
2007	不全片麻痺	70代
2008	視野障害※1	60代
2009	構音障害	70代
2010	嚔下障害	80代
2012	不全片麻痺	70代
2014	術後脳梗塞	60代
2016	意識障害・右麻痺	80代
2020	軽度右片麻痺	80代

※1 反対側内頸動脈高度狭窄が原因の脳梗塞を術中併発

□死亡 3例(0.3%)

施行年	症状	年代
2007	右完全麻痺	90代
2011	術後心不全	80代
2021	腸間膜動脈閉塞	70代

内頸動脈狭窄症の外科的治療成績

CEA ; Carotid endarterectomy

□一過性合併症 23例(1.9%)

施行年	症状	年代
2003	嚥下障害	60代
2004	構音障害	60代
2009	術後出血(創部) ^{※2}	70代
2010	術後出血(穿刺部) ^{※2}	60代
2010	術中解離 ^{※4}	60代
2011	術後出血(創部) ^{※2}	60代
2011	術後心筋梗塞 ^{※3}	70代
2013	不全片麻痺	70代
2014	舌下神経麻痺	70代
2015	舌下神経麻痺	70代
2015	舌下神経麻痺	60代
2015	不全片麻痺	70代
2015	嘎声	80代
2017	嘎声	70代
2019	嘎声	70代
2019	嘎声	70代
2020	不全片麻痺	80代
2021	術後出血(創部) ^{※2}	80代
2021	一過性意識障害	70代
2021	一過性失語	60代
2022	軽度くも膜下出血	80代
2022	左片麻痺	70代
2022	巧緻動作障害	70代

※2 止血術施行 ※3冠動脈ステント留置術施行 ※4 CAS施行 いずれも症状なし

□術後再狭窄に対する再治療 29例(2.4%)

■再治療までの平均期間：714日(42日～4965日)
■再治療内容：28例/CAS(頸動脈ステント留置術)
1例/バイパス術